

## ★残暑お見舞い申し上げます

土日のショールーム好評OPEN中です。

必ず事前のご予約をお願い致します。

「想い」の伝わる本物の家を

## ★いま、住宅が危ない!

“住まいに関する心配”と言えば、耐震強度偽装問題が記憶に新しいところ。「見えない所こそ大切だ」ということを肌を感じた事件でした。しかし!木造建築ではその肝心の素材にもっと大きな問題を抱えているのです!

“ホワイトウッド”という木をご存知ですか?主に北欧から輸入されてくる材で、構造材として使われます。あまり聞き慣れない名前だと思いますが、実は現在日本では木造住宅の5割以上、建て売り住宅では7割以上に使用されていると言われています。この木の長所は加工が容易で扱いやすく、安価であること。逆に欠点は、「腐れやすく」「シロアリに弱い」こと。弱いと分かっている木を家の土台や柱に使いたいと思う人が、いったいどれくらいいるでしょう。ほとんどの場合、この情報は住まい手には伝えられないまま、工事が進んでいます。



▲屋外にさらして4年後の様子。  
左から 檜・杉・ベイツガ・ホワイトウッド

このことを特集した新聞が発刊されました。『アネシス 平成18年夏号』木童ショールームに置いてありますので、ご自由にお持ち下さい。そして今一度、見えない所にもっと関心を持って下さい。

日本には杉をはじめ、気候風土に合った木と、それらを加工する素晴らしい技術が育っているのですから!

## ★家づくりの現場から ~横浜・0邸 施工:山洋工業~

“リビングのフローリングを無垢材に換えたい”との要望で木童ショールームを訪れたOさんご夫婦。事前の下調べは入念で、難しい名前前の木をたくさんご存知でした。でも実際にどんな木か分からず、木童ショールームで体感しようということになったそうです。ショールーム内を歩いて、サンプルを見て、最終的にお二人が選んだのが“土佐梅”でした。樹齢300~500年のこの木は少し堅めながらも、針葉樹の柔らかい雰囲気も兼ね備えた材。あまり節が目立たないのも決め手になったようです。色合いも明るく、以前の落ち着いた雰囲気から一転。当初予定になかった建具も、床材に合わせた素材に取り替えることになり、杉の柾目を表面に使ったパネルを使って質感とコストバランスの良いオリジナル建具ができました。仕上げに木童の桐油を塗ってこれからの経年変化が楽しみです。



<before> → <after>



## ★針葉樹の家具・小物

無垢の家具の素材と言えばナラやタモなど堅木(広葉樹)が主流ですが、針葉樹で作った家具や小物は独特の優しい風合いに仕上がります。また節が入るなどすると、より個性的にも見えます。

今回はそんな針葉樹の魅力をご紹介します。

主な針葉樹 ... 杉・桧・から松・パイン etc.



◆カウンター天板・ベンチ:杉



柔らかい素材は長く座ってもおしりがいたくなりにくい

■パソコンデスク:桧 (¥42,500-)

■イス:桧 (¥29,500-) ■リムベンチ:桧 (¥26,500-)



◆テーブル天板・ベンチ:から松

■テーブル用天板:赤松  
2450×750×64mm

形がかなり個性的

¥315,000-



◆テーブル:杉

自然の風情そのままを生かす



◆学習机・ワゴン:から松

柔らかい木は復元力のある木  
子供が傷をつけてセメンテオンスが目撃できる

■テーブル用天板:屋久杉  
2000×900×40mm

¥399,000-

オイルを塗ると  
美しい木目が...



◆カウンター天板:土佐梅

## 木童 NEWS ラインナップ

■ 第13回企画展「植本計画デザイン展のミニ展」 8/21(月)~8/31(木) 予定

■ 第14回企画展「設計アトリエ展」 9/11(月)~9/29(金) 予定

■ スタッフによる木童ブログ・随時書き込み中! HPをのぞいてね! URL: <http://www.kodoh.co.jp>

■ “木童の輪” 募集中! イベントやSALEの案内、木童通信を送らせていただきます。

ショールーム内の申込用紙に必要事項を記入してね!